



みずのき

一日「感動」「サプライズ」！
～ 子どもたちの感動を創る ～

発行：令和4年10月1日

まだまだ日中は汗ばむ日が多いですが、朝夕はひんやりとした空気が秋の訪れを感じさせます。秋と言えば「食欲の秋」「芸術の秋」「読書の秋」と楽しいことがたくさんです。夜になるとコオロギやスズムシなどの虫たちの歌声が秋を感じさせてくれます。豊かな心を育むには様々な体験をし、心を躍らせる経験を積むことが大切です。未だコロナ禍で外出には少しためらう場面もありますが、今年は行動制限も緩和された事で随分外出する機会も増えてきました。是非天気の良い日は外に出て、子どもたちへ移り変わる木々の葉の色や虫の声などの変化を言葉で伝え、季節の移り変わりを一緒に体感してみたいはいかがでしょうか。

児童発達支援管理責任者：福崎竜太

児童発達支援

9月に入って落ち葉やひつじ雲に秋の気配を感じるようになりましたが、子ども達はまだまだ汗びしょりになりながら活動に取り組んでいます。

9月の活動は十五夜やお月様にちなんだ製作や紙粘土でお団子作り。また、落ち葉のにおいを嗅いだり触れてみたり、色を比べてみるなど五感で秋を感じるものを行いました。みずのきでは裏山や庭園での虫取りなど自然に触れあえる活動を通し、子ども達の感性を育む取り組みを行っています。「できた！！」、「やったーっ！！」の歓声を励みに様々活動に取り組んで参ります。

理学療法士：有木健一



放課後等デイサービス



2学期もあっという間にひと月過ぎ、すっかり学校モードの子どもたち。運動会の練習が始まった学校もあるようです。「ムーブメントで鍛えてるから、かけっこ1番取れるかも!!」とお話してくれるお友だち。いつもの頑張りが自信になっていてうれしいです。

9月から日課に「音読」が加わりました。開始当初は恐るおそるといった様子でしたが、回数を重ねるにつれ「あかいとりことり！」と自信に満ちた声が出るようになっていきます。「前に出てお手本したい人いますか？」と問いかけると、「はいっ!」「次はぼくがやりたい!」と第一陣。お友だちの様子につられてほかの子どもたちも「ぼくも!」と次々に手が挙がります。お互いに高めあう姿にスタッフもパワーをもらっています!!

児童支援員：松元 圭



お知らせ♪

これから療育を検討されている保護者様へ!!

みずのき内にて、『公認心理士の堂籠やよい先生』をお招き致しまして発達相談会を開催いたします。

日時:10月29日(土) 10時~14時(一家族40分) ※ お申込みはこちらから ⇒



【プロフィール】

鹿児島大学大学院人文科学研究科ご卒業。

臨床心理士の資格を得て、鹿児島市南部保健センター、南九州病院、県内のスクールカウンセラーとして、勤務。

現在は、公認心理師、発達障害支援士の資格も得て、武井内科クリニック、KCS 情報専門学校、甲南高校のスクールカウンセラー、始良市の発達相談員、同法人ちはなこども園の心理士として勤務されています。

福祉サービスやサービスのご利用、お子様の発達などお困りの事などございましたら、いつでもお気軽にご相談ください。



社会福祉法人慈孝会 みずのき
〒892-0871

鹿児島市吉野町 5651 - 2

☎ 099-295-3822

Email:mizunoki@jikkoukai.ed.jp

担当：福崎